

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称…地域密着型特別養護老人ホーム 宍道楽苑

地域密着型小規模多機能型居宅介護 宍道の里

会議開催日…令和 8 年 6 月 18 日（木）

開催場所…宍道の里 地域交流室

出席者

事業所	3 人	利用者	人
利用者家族	人	地域代表者	1 人
松江市職員	1 人	包括支援センター	人
知見を有する者	1 人	その他（ ）	人

<議事>

1. 開会のことば

施設長より

2. 利用状況

宍道楽苑（令和 8 年 6 月 18 日現在）

入居者数 25 名（男性 6 名 女性 19 名）

要介護 2 1 名、要介護 3 4 名、要介護 4 12 名、要介護 5 8 名

平均介護度 4.0

宍道の里（令和 8 年 6 月 18 日現在）

登録者 10 名（男性 3 名 女性 7 名）

要支援 1 0 名 要支援 2 2 名 要介護 1 2 名 要介護 2 3 名

要介護 3 1 名 要介護 4 2 名 要介護 5 0 名

平均介護度 2.1 平均年齢 80.0 歳

3. 出来事（行事・外出・会議・研修等）

- ・ 5/1 歯科研修
- ・ 5/25 ボランティアさんによる踊りの披露
- ・ 5/28 全体会議
- ・ 5/28 研修（身体拘束をしないための具体策、身体拘束・虐待について）

4. 宍道の里活動状況報告

- ・ カレンダー作成
- ・ 季節のぬり絵
- ・ 切り絵
- ・ 脳トレ（ボードゲーム）

- ・パタカラ体操
- ・ボランティア（踊り）

5/25（月）宍道の里にボランティアさんをお迎えして踊りを披露していただきました。
宍道楽苑の利用者様も参加されました。

5. 小規模多機能 ヒヤリハット・事故報告書について

ヒヤリハット：合計 1 件

何かを泡立てて顔に付けられていた。確認をすると、うがい用のモンダミンを手に取り顔につけられていた。すぐさま、洗い流していただく。

対策：認知症であり、顔を洗うものと口をすすぐものと区別ができない。

ご本人が手が届くところにモンダミンを置いてしまっていたので、手が届かないところに置き、職員が管理をし、職員見守りにて使用してもらうこととする。

事故報告：合計 2 件

- ① 宍道の里側のソファに座られていたが、急に立たれたためバランスを崩されしりもちをつかれた。頭部を打たれることはなかった。自力での立位が困難であったため、職員 2 人で介助しソファに座っていただく。

対策：以前に比べると歩行もややゆっくりで足の運びも悪くなったように感じられる。筋力が弱ってきていると思われる。

現在宍道の里に置いてあるソファは低いため立ち上がりにくいと感じられるため、なるべく宍道の家にあるソファへ誘導し、座っていただく。

- ② 他利用者様から「薬が落ちている」と指摘があり、ご本人様のいつも座っておられる椅子の下に薬がおちているのを発見する。

対策：内服薬を服用後はきちんと飲まれたか、薬を渡した職員が責任をもって最後まで確認する。

6. その他・報告事項・意見交換

知見を有する者「ボランティアさんが来られ、利用者の方も一緒に参加されたということですが、どのようなことで一緒に参加されたのですか？」

施設長 「ボランティアの方が持って来ておられた道具を使い、道具を音に合わせてながら振ったりして楽しそうに参加しておられました。」

知見を有する者「民生委員の会に参加をした際に、宍道にある特養の施設職員の方が

“現在空きがあるのでご紹介ください”とお話にられました。

こちらの施設もそういった会に参加できるか確認をしてみるとよいと思います」

施設長 「以前は伊志見自治会の総会に参加したりしていましたが、コロナ化に入りそのような機会がかなり減ってきています。見直しをする時期に入っていると思います。ご意見ありがとうございます。」

7. 次回

日時：令和 8 年 8 月 18 日（火）10：00～

場所：宍道の里 地域交流室

※事業所確認欄

☐ 活動報告についての評価を受けることができたか。	
☐ 要望・助言等受ける機会を設けたか。	